

グループホームしあわせの里 令和4年度 第2回運営推進会議報告書

- 1、開催日時 書面会議の形式で開催（新型コロナウイルス感染拡大防止の観点によるため。資料については令和4年6月上旬に委員のかたに向け送付）。
- 2、資料送付対象委員 [redacted]（地域住民代表）
[redacted]（地域住民代表）
出雲市役所高齢者福祉課
平田高齢者あんしん支援センター

【議題】

1. 「しあわせの里 看取り介護の実施状況」について
 2. その他
- ★ 利用者状況 について

【後日、委員様から返送にていただいたご意見】

[地域住民代表の [redacted] 委員より、いただいたご意見は下記のとおり]

知識としては知っていましたが、御施設で看取り介護を実施されているとは知りませんでした。大変な介護だと思います。

利用者やそのご家族のかたの希望に沿うよう、ご対応下さい。

[当事業所からの回答]

医療機器の充実していない当事業所での看取り介護を希望されるのは「長年過ごした場所で親しい人々に見守られ自然な死を迎える」という理由に尽きるのではと考えます。

現場の職員も看取り介護の提供経験を重ね「自らが対応できる範囲をわきまえ、可能な範囲でベストを尽くす」との観点で過剰な心身の負担を負わないよう取り組んでいるところです。

これからも、人生の最期をどこ(当事業所・病院等)で過ごすことを希望されるかを伺ったうえで、当事業所に対応できる範囲の看取り介護を提供していきたいと思っております。

[平田高齢者あんしん支援センター ████████ 氏より、いただいたご意見は下記のとおり]

いつもお世話になっております。

新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みに、日々ご尽力されていることと思います。大型連休での人の出入りなどで心配されていましたが、県内の感染者数も減少で推移していますね。今後も引き続き、基本の感染防止対策に取り組んでいただきますようよろしくお願いいたします。

「質問」

○看取りについての同意書について

ご本人の意思が確認できる段階で、家族や支援者と繰り返し「人生会議(ACP)」をすることが大切だと言われていていますね。普段からされている方であれば、入所の段階で作成もできるかなと思いますし、意向が変われば書き換えも必要ですね。しあわせの里では、この同意書をご家族と交わされるタイミングはいつなのでしょう。入所されてから任意の時なのか、看取り介護へ移行される段階なのでしょう。

○令和2年度以降の看取り介護の提供の詳細について

年2~3名の方に看取り介護を提供されたとのこと。「面会制限一切なし」というのは、ご本人、ご家族にとって何よりのことだと思います。関わられた方には、さまざまなご苦勞や後悔、または良かったことなどもあったかと思います。書面では詳細を確認することが出来かねますので、また会議開催の折にご報告いただけたらと思います。

[当事業所からの回答]

いつも参考になるご意見をいただきありがとうございます。

「看取りについての同意を交わすタイミング」については、ケアと同様で利用者様それぞれ異なります。「食欲が徐々に低下された場合」「重度な疾患を治療されない選択をされた場合」等々が例として挙げられます。

全利用者一律の取組としましては、入所の際の契約書及び重要事項説明書の説明の場で「重度化した場合における対応に係る指針」「看取り介護指針」に触れることです。但し、各主治医の意向も踏まえる必要があるため、その場で利用者様及びご家族が希望されたとしても看取りの同意書にサインまでいただくことはまずありません。「人生会議(ACP)」については、会議

形式で行うというより、日々の利用者様及びご家族との会話のなかで「人生最期を過ごす場はどこが希望か」「最期を迎えるにあたり、どういった生活がしたいか」といった情報を収集するよう取り組んでいます。

「看取り介護の提供の詳細」については、ご本人・ご家族にとってより良い最期を迎えられるよう環境を整えることを意識しています。看取り期とは「医師により回復不能な状態であると診断」された場合を指します。その状況にある利用者様及びご家族への支援として「環境設定」は重要な項目と理解し取り組んでいます。現在、休止中である1ユニットの居室を「ご家族控室」に活用するなど、幅広い視野でアイデアを出すよう努めています。

[出雲市役所高齢者福祉課より、いただいたご意見は下記のとおり]

現在、看取り介護の利用者は何人いらっしゃいますか。

看護師資格を持った方が1名所属されているようですが、勤務体制等において、工夫されている事、困っていることなどはありますか。

[当事業所からの回答]

令和4年6月末現在で看取りの同意を交わしているかたが1名いらっしゃいます。そのかたは重い心不全の診断を受けていらっしゃいますが、積極的な治療をご家族が望まれず、極力当事業所で最期を迎えさせてやりたいとのことで看取りの同意を交わしています。

看護師1名体制で看取り介護を提供するにあたり工夫していることは、看護師と管理者のどちらかが自由に動けるよう勤務を構成する点です。困っている事と表現することが適切ではないかも知れませんが、当事業所の看護師は極力呼吸停止の場に居合わせるよう努めていますので、重篤な状況が長時間続いた場合には負担が大きくなる傾向にあります。

【次回開催日程】

令和4年8月19日(第3金曜日)16時から開催する予定(新型コロナウイルスの蔓延状況によっては書面会議形式となる可能性あり)。